

竹粉で堆肥を作ろう

◆竹粉で堆肥づくり

- ・丸子まちづくり協議会では放任竹林から切り出した竹を粉砕機で竹粉にします
- ・竹粉を家庭生ごみと混ぜて堆肥を作ります
- ・1 か月ほどでできた堆肥は家庭菜園や農家の畑に撒きます



その結果、

- ①放任竹林が少なくなり、景観や環境が良くなります
- ②鳥獣被害や竹林崩落の危険性が少なくなります
- ③市の可燃ごみ全体の4割を占める家庭生ごみが減り、処分コストが減ります
- ④畑に堆肥を撒くことでおいしい農産物が生産されます

◆竹粉の製造過程

- ①環境部会のメンバーが放任竹林を伐採しています



- ②伐採した竹を集め、1本ずつ粉砕機にかけて竹粉にします



◆竹粉と生ごみを混ぜて堆肥づくり

- ①堆肥づくりのための発泡スチロール等の箱（50cm四方程度）を用意します
- ②最初に竹粉を10センチほど敷き詰め、その上に水をよく切った生ごみを入れていきます（竹粉250g：生ごみ800g）
- ③生ごみを入れたら1日に1回程度かき混ぜます
- ④これを繰り返せば1か月後には堆肥が完成します
- ⑤できた堆肥は家庭菜園や庭園などに撒きます
- ⑥もしも撒くところがない場合は近所の農家かまちづくり協議会にお問い合わせください

◇竹粉と生ごみを混ぜます



◇竹粉と生ごみを混ぜて1か月後の状態



◆竹粉堆肥づくりの注意点

- ・竹粉 10 kg ほどあれば、4 人家族 1 か月分の生ごみを処分することができます。
- ・竹粉と混ぜる生ごみは何でも OK ですが、大量の草や葉、貝殻などは堆肥化しにくいので混ぜないで下さい。また、ダイコンなど大きな残渣は細かく刻んで下さい。
- ・生ごみを混ぜるときはできるだけ水を切ったほうが良く、また、堆肥づくりの入れ物は雨にあてないで下さい。
- ・夏は虫が湧く場合もあるので、布をかぶせて遮断しておくといいです。

◆竹粉の入手方法

- ・丸子まちづくり協議会では、この活動の賛同者に竹粉を無料で配布します。秋から冬の間は放任竹林の伐採と竹の粉碎作業が終わり次第、ストックした竹粉を配布します。
- ・竹粉は北丸子 2 丁目（戸斗ノ谷自治会地内「滝の口地蔵尊」横）の保管場所にストックしておきますので、希望者は受け取りに来てください。
- ・丸子まちづくり協議会環境部会が主体で竹粉堆肥づくり活動を始めていますが、人手が足りませんので賛同する方は一緒に活動していただければ幸いです。

◆参考データ

- ・市内の孟宗竹林面積 613ha（26 年度）⇒殆どが放任竹林と推測
- ・市内の耕作放棄地面積約 1,800ha（農業経営耕地面積 3,818ha の 47%）⇒竹林化が進行
- ・一人一日当たりの家庭ごみ総排出量⇒727g/人・日（平成 25 年度）
- ・家庭から出る可燃ごみの生ごみが占める割合⇒43%（平成 24～25 年度）
- ・静岡市全家庭における可燃ごみ⇒149,000t（内、生ごみ 59,600t）（平成 26 年度）

◆問い合わせ先

認定 NPO 法人「丸子まちづくり協議会環境部会」

（松川和夫 090-7866-7679 大原正和 090-3422-7466）